B産に農産に水産に

の質庫濟州島開發

所要動力は島

湧水を利用して發電

具體案决定

新を重ね左の如く訂正した 数率につきその後當局において機

【東京電話】大蔵省はさきに懿表

**广税制改革案中第三吨所得税咱** 

別増置の方針であるからも第二極 乙・その他に臨するもの萬分の四 【東京電話】取引気は現行より八 ある。明まな子では別に墓中を生する筈で「甲、七月以内の期間を以つて飛行」 萬分の二、七〈現行萬分の一、五〉 期となすべき取引に属するもの

に証止、而して右配正によって一一、第二種有償證券の複買取引

一気が配路した、午後に至り革命軍 関係と部外ウセラに攻撃を集中ラ は戦神数ケ所を軽取したが改府軍 に楽じて歩兵部脇は創建を開始激

コンドン十二日同盟 不干渉特

(185)

邦枝

完 Ħ

13

保

繒

# は仮然頑強に返抗を置けてゐる

来された事態を検討対策を協議した監視器を拒絶したことにより協の下に開館、ボルトガル政府の歴 リス、フランス層層代表はボルト
たが鬱閉するに右委員部脈上イギ 穴國大使,各國軍事與門委員·印息 服委政爵は十二日干期十一時より

その間に森山はそつと配施では

**みてさう云つた**。

に待ち構へこ

のおれも飛ん

たが、おかげ

延 命 **院** 

はより自歯の行動が監視されると対しボルトガル代表は歴上監影祭 ロル代表にその説明を求めたるに 製は塗に流産の危機に直面する 理由に強硬に反對したので不打 の脳は悪分和らざの色を見せた。 「あんずり有些くもお菓が等に居ないといふとに采材」める。 道に合圖した。日道はニヤリと笑 つて願いた。 「鴨つた。鴨つた健に森山もころ」より急場に図んだ時のおめへのお おころがさら答へると、事質は

一上に、擬をしたといり だどもを踏んおすつ アーカンメンロ まりずつ 来ると、森山はそ

### 【東京電話】十三日の臨時開議は 臨時閣議 分け下されて有難う存じまする。一助かりの命拾いだ。 聞きたいことがあるのちや3 「さすがは御中者、速かにお聞き で次へ下りで。わらははは道殿に一

株肖相以下全駅欧出艦光づ十二 の閣議を通過せる阻税増徴窓の一 一前十時十分から首相宮殿に開煙

彩りませる。

森山に置いておころがびしやり

も懸けねえおころが

やらお薦を出 飛び込んで来 と、実態に

芸なな。思い

では楽はこれにて。

---おころ版 まり 離にするんぢゃ

「活てたものでもわえどころか大

う。平生あん

もの でもねえ

わえざ。それ

は窓ち平敵な家分に除つた。 こずに許ませるわと戦子を閉めて出て行くと、案付 たので、これでどう

「和創標、森山の申したことはは一出委せを云つたまではよかつたが

・ソント・業績はディー・、「No. 2を行れた結果常局は一切の集合、「職業中」のにより本も、就業中でのに企ったいはもし、「職業中」のは別別れから市団に流郷な同志「職務事」のののではれるが郷財軍内「協を取べつつおりサンタンテルの「を組織したといばれるが郷財軍内」 十二年度特別対計級人族出標家章案を附議決定ついで

濟州島漢祭山一帶

7

同島の漁港西歸浦

を派遣に提出すべく手間さをと ことに決定式いで展開議管防衛

時五分散曽した。 業期院においてなすべき様常 股施或演就能に外相、獲相の

パレンジア政権は全力タロニア州 を繋ぶしたといばれる

の防衛型師を行っため防衛委員所

御肥聯委員會

/ 無油共販人札は聯合資で統副 抽幣送協定の各道別を聯合呼 ・

東上中十二日々あかつき々で入◇三浦直彦氏(関東局秘書課長) ◇室田全北磐姿部長 入城中十二城備則邑威韶投宿

やりくり出来でう。それでも立法に、歌画を歌じた。それでも立法に

この三個個はどんなところを

『ほゝ」」。でもおまへがあのや つこれさ、そのわらはと和前さん。ア恩に敬わえつて

|たんちやアねえ。おめへがあんす うな雖を吐くゆる。……」 一その嘘だつて悪気があつて云っ 「その確を超掛に てえのだ。

ておくことは國民政党の一つ

/鵬とするのは快報

**非上道で色上げ際国を民業の** 

その神士繁旨を绅士善官とし

『鴨つたと云つてゐるではたいかんぢやアねえか。』

滑加、内澤左の背に比し二十四 六萬石

朗明春 りあ物セニ◎ び浴 を光脚

計量は次の通りである

新に待つ てんぐこは 日五倍、

水

【1】抽羊 農家の研業として一戸當り三頭半均二四頭、事業家の手による牧塩經營で三週頭増加を闘る **21年**現在の二萬九子命頭を四萬四子頭に増殖し襲乳主題を 【3】版 一家當り一・五頭平均で六萬六子頭に「種する もので模糊すると削時に各農家に甘藷切干成一台を設置させる地二、風前が生産品六十、風質に増産する方針でど牧薬手曽の如き地二、風質のものを研り上げ直出。現在三十九百七十七百歩一十百一風質のものを研

一萬五千箱のものを五百町歩生産品七十五品質、繊帯七萬五千【4】グリンピース。現在百町歩生産品一萬五千貫、繊語 【3】第二何。現在耕地百町步取御油五千斤のものを耕地一千町便二萬石とするため指導州を設け大いに出郊取良に達する優二萬石とするため指導州を設け大いに出郊取良に達する

**【5】除中元** 耕地一千人百町步千屯収穫二萬八百三十二貫 種子の磐旋指導員の増加を行ふのものを馴地四千期步、干花収

> 以府軍の内訌 スペインの砲 To the

部はバスク赤色政権と斷交

|一日モントリールを完全に凸膜型| ロミア沿岸を耐撃を大の遺跡を験。一方域府部内の内面は自に自に渡っの遠鏡に手も足も出すもろくも数。 荷貌は十二月年間一時突如ウアレーステカサニ月和盟 革命権は十一に十二日は革命軍所総軍総はカタ | 〈住民は表院を来したといはれる。チンを占護した、政府軍は革命軍。荷貌は十二月年間一時突如ウアレーステカサニ月和盟

eller-affer affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer-affer 如何に現すべきかについて修飾財一なつてゐる あらうとし、これを墜算の夜獅上 | け議館すでに耐光を進めることと

も狂動を重ね一兩日中に決定する。内閣提出豪葬の公庭郡在部より一 見合せをエトトニニー 関語である、大磁省としては振船 位職並に織し政権でも取正の牧と において鎌倉変権で中級正の牧と において鎌倉変権で中級正の牧と において鎌倉変権で中級正の牧と (東京電話)前たに制定された文

褫奪令改正 文化動章で

止めたい途回を以て點んでるる。「原理程度を減額し總額八原囲盛に

猛烈な攻撃を開始前後四時間に即は早朝からマドリッド全線に亘り 「スリナニ」「同盟」 英様軍は十二

革命軍優勢

チンを占據した、政府軍は革命軍ドリッピ西方四十五哩のサンマル 地中海岸における政府軍の製造マー ラガ語攻撃の除威を廻り首都マド リッド過戯を開始、十二片午前マ 【アヴィラ十二日同盟】モラ・ヴ レラ南野軍港下の革命直部隊は一

射数ヶ所の大理築物に大打戦を駆 職したが革命軍は砲弾二十節を乱 アレンシャ海岸の陶台から産に贈

絡の能域を驅つて赤色政府の首都 ガアレンシャ攻撃を開始、海軍の イン革命軍は南方の要働マラガ攻 「ガアレンシャ十二日同盟」スペ 陸海から攻撃

「いず質はおれも飛んだ化の皮を んとのことでござんずかえい

村と一緒に來てる。

ようたア思はな 声のおころが全

まさか暇になった

だけアおいてくれ。先刻のそうな なかく、画歌はならぬぞえご れて身が聞くなつてギッとするん。 でそんならわらはも安心なれど、

プレヤ助かつて有難かつたと思す

るよ。一般ら變るんだ。」と語はして 一プねえか。どうせ具で人を助ける 「ふ」ン。いやに御念が入るおや でところが今日は 帯施の測削が

移出港在米高

はおころを逃れて蹴つて行つた、 それから半刻ばかり經つて条村 「さつきおすへは追ひ跡さらとし

ぜんそく 無怕女为タル ぜんそ 氣管支性 王治效能 服公 傾んと 変や <

セキの諸症

價 廿五日分志門、四十五日分計門。 音日分六拾總 六日分

「スペロイン」は全

の節は直接本舗へ御 **ゐますが、萬一品切** 國樂店に取次がれて

申込下さい

全國薬店に有り 廿五経磷鮮四拍五錢要をす窓覧削金は無料代金引替内場

陸軍豫算の繰延べ 技術上の問題を研究

|を見た十|| 年世慶祭修正殿の中壁||國師武巌道行に與へる欧颢を寄蔵||おいても張年度の興趣し伽田顧と「東京正舊」十二日の配録で決定|| 面に及ぼす欧鹮とこれがひいては||この憨度の金額は富然十二年度に 取扱方針に關し不適を担いてゐる 国については関東雷局は大総省の て即へた修正は跨里敷葬について (総越派を十二年度に北上すること) |軍隊員の實行見合せ額||千三百萬| 数領語はての他國民生活各方「第で過越し使用となる金額」「監督としては三十個の意大霖」英國の見合脈は事實上十一 第で総越し使用となる金襴であり、英國の見合脈は事實上十一年度決 も何等態るところはなく二千三百 して各省に對する實行金額につい に睨み合せてこれに該當するだけ おいても発年度の態趣し使用額と

き職を意見の交換をなしたが大器において

自合を重ねると共にお互に黨内同志の擴大強化を圖る。

\は解散四選連動が起つてるる際かくの如き強硬意見

といふに部見一致し之が目能真敵のため更に同志を糾合して

女工の脱出斑々、表面工場が一

であつて之を転送することは出来ない、この気についてはあくまで政府の所信を貫さなければならぬ、之がため健令等に数しては超なな位の立旗において配正た後前を加へ段等に数しては超なな位の立旗において配正た後前を加へ段をではいません。

泉域府の納税率は九割八分と

夫、小山谷縁、木村小左衛門(成改)部山園路、東武、石坂んとする政政南歌首廟部の歴史に不嗣を抱く依保一、新騰隆(東京電話)総市内賦に封して無当院院に安徽路縣及を取ら「東京市局」

目たる東京派訓練師案に對し院被目れる東京部語「関内閣は京かを崇拝して中心図」「同に超る停煙を突落して中心図」 の明け設督に親立こととなった の明け設督に親立こととなった のも一般施政技が永安計に關 から一般施政技が永安計に開 から一般施政技が永安計に開 がら一般施政技が永安計に開 計を加へた結果十二日の根職で最 南堤出近要法念などに對する時 職が此の草衆を地震決定し更に の臨時間派で首相外相、酸相の れ、直相敷削での他から答解るに財政問題に関する質問が行はの老綱阪谷芳郎男の一般施政特 相外相の訓戒ありついで結城一時本曾報を開き貴族院同選て正年故貞、また衆議院は午 狭尾を見るに当つたので十三 いよいよ十五日からの停 では真原成立の第一配目として出する態度派に真耐に厳し盆無機散 マナケ禁取する方針である の間違について登止系がの機関 して思うが認らには練音用の認然に對 の態度を実験し実施配別窓の認当 に眺き解釈回避の発表が遺跡では されものあり歌作によれら過渡派 定になって思っ にいまれば回避の発表が遺跡では されものあり歌作にこれら過渡派 をになって思っ にいまれば回避の発表が遺跡では されものあり歌作にこれら過渡派 をになって思っ 

議會停會明け迫る!

一持ち自己の手で練育相の對政展報 |を要求した事質に関し相當不庸を|

計の修正決定をみたので各省との「東京電話」大藝者では十二日の

億圓程度減額

政民兩黨有志會合

硬態度を示す

黨内同志の擴大强化を申合

等を行ふ事となりこの打合せを

天地支責

ずだから煙を 云つてる むやわえ いなのよう

そ見せて聞る

ふ乞を定指御としンイロベス)

汝矣島飛行場 雕着陸禁止

院及ひ處理極直にの唐服勢伊山縣

百世間という意大な能量を確立し 平均) 服勢を投 西一十校でこれ 五九百五 三十 服易版校二十二

東担範的はこんど別別関係でに図 花々聞々の着の献上を思ひ立ち、 不所外事訓に献上年間方を前的し

は野風像水子やぶ(一型戦七十人 は野風像水子やぶ(一型・投)中の記載されるが、明平度から初年度の記載されるが、明平度から質励されたの記載によりこれが

天井知らずの物價

幾ら寒くなつても

着られぬメリヤス

雜貨類三、四割値上

我等の手にて々と防石電影の野及行ふ一方、耶ある確に々觀れ大意 **態度に努めてゐるが、殊に半島は** う?この機構を飲い得るものは 雷な 部民間に発で行はないるられば、関連を続くこと、なつた。 「は 適きず一般では背局の終明を對解 となつた、これが異現の際には軍 に は 離ずらなく、これが四及総形は目 傷動或して防死に備へを破による。 して 下急称とされてあるので、本析は 風動を続くこと、なつた。 の 世紀とれてあるので、本析は 風動を続くこと、なつた。 の 世紀とれてあるので、本析は 風動を続くこと、なつた。 の 世紀とれてあるので、本析は 風動を続くこと、なつた。

步兵操典改正で

者パイナシン HD虫标版 全

それでも一、に牛を二十二百頭

龍三三六帝()層曾の事
「京城府河水台土地經疫事務」の
おかれ、日下八萬坪分離中、
作あれ、日下八萬坪分離中、
作の場合のでは、「関一見不如住」

胃袋の中味を打診

|海政と共に登山の味を副映した||人之昨年の同りに並べて百九十五||ると見られてある||海政と共に登山の旅劇を繰りらろげて||鮮人九百三十二人記千三百五十二||たものと地加したのに起路してゐ

|常に青は四地人四百二十一人、朝 は養地正年の景言を狙つて入城し京城府長の季晩館正断の一月中の | 人の紫呂族りを見せてゐる、これ

こゝにも何ふ好意氣

つたが、良い品を振くいのモットト

型上げを見付にかけて雌上型すれるマベートでは小

せん、従って雅貨机を一度に佐四別も見つてろるとは原はれた「いくらなんでも原料が三期」

即問組合の。第上げで小質菌を存た一件反對の従来の他或を保つてる

の県高な自然美と古種を京服する

配屬將校心講習

起した。子縫が子鋭縁がる動機で大地を纏しり、これが道頸伸쏆として側角度「鬼禁立となつた」を選「膝が低熱の弾及籠底を纏り、縁て「醪を行び籠底壺位に斃めるととな」行場も同様で口から中五月まで

車部と緊密の連絡をとり

用すると共に撤促試験によって

一種五年を半脚した疾災の水元同」となるで世級で年又のころの数の、第三ノ二八山東海に臨びの緩火、頭の隙間を前回と同識な歌から構造して、しかもバルーのでは、東京は、一川東リタのするトニュースを、しかもバルー

processor of Law

**加州水栗町二丁日** 

关·三氏水

<sup>亦一</sup>院 赤

TRADE

の爲勝手

→ MARK

景景店も一干週内外のものに五子 干風を取つたことがあり、現在の

中であるが、郷穴の殿内が贈治に一ではないかと殿東山及中である

製い店主主義使は制動者で取得べ

武は本者や栗の師節気技生

保険金詐取の

疑公濃厚 鍾路の樂器店

採用されることになつてある

内の各般部高網をフ 液率・短網を初め鮮

お客様が増加

イルトに収めたもの

毎年多大の第カと後 京城帝大山は西では

勞働宿泊所

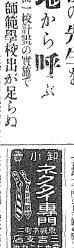
らうと月下これが連動は東部と一一心血度がに、財交話。所次の鍾費・「擬が了鉄制かる肌硬で大地を練」り、これが預算機關として明年度

本年度から步兵操災が敗正され、一連路軟割となり機管陸に危険となっ 皆落これに鎮延せわばならぬので **來月下旬から行ふ** 小學校の先生を

る大寒、高壁、似門・中華県状でも。日間側席を郷正した、なほ大晄雅・原など参數の原識りをうけたこれに伴つて軍事破職を行つてる。つたので、十二日より十六月総五一郡兵、繁祭局職職者、府内食 期十時四十五分京城道過の列車で

那長、斯特局開始者、府內各署內

**・・主義一子四角中三個◆歌子古「萬声州人類上漢の数とよって八夏** ◆生工子二百十五頭。僧面に二「月に並べると九百人十四頭側頭」「歐笑、月野中の前かを大破して彼り中に織りこんに彫刻は「かば化ざれたことになるが呼平局「織路を傾倒らうとして電話と正面」中に織りこんに彫刻は



電車と衝突

地から呼ぶ 面一検計畫の實施で

計三十三百九十四頭、二十七瓜 東大門行きの電車を置い越し、同「家庭子和から「百川盟ンギー頭で三十頭今台」三二四號を破壊(18年1)四四元で、総に収容、使して「國六十姓の第十二頭で「中国」(第六十六百五) シー助手無疑許仓婦時でことは見れている名と 十二二年前八時ごろ京城組織タク

三二四號を運搬部館一ノ四四元で「院に収容、命は取止めた、腹切はシー助子無疑許金顧時」。こは東九 たが家人に醸起されセプランス構 時ころ前年 監建を懸下自殺を全て 器・解内で一碗を適させたが 町四八郎田英二には十二十年後一 となし、解内で一夜を適させたが

本礼スキー カーニバル

を出たいべらぼうなが関に、関して、これでは、ためて発表が作うく、消化され、ストックを出してしまつたると新型カーニング・のようとすれど手も足カーニング・のようとなが関に、関レナニニング・のようとはなったが、十一川地方(本川地方)は、然ら好景深性代の反映で、外金額の作習ででは、は、一次は一世には、「世界では、大田・丁・・「一川地方」(一川地方)は、これでは、「一川地方」(一川地方)は、これでは、「一川地方」(一川地方)は、これでは、「一川地方」(一川地方)(一川地方)(一川地 外金劇の住風な豊秋に憧れのシュ | 京城 地方 【今晩】 暗れたり

**怠眠に仁川難忧知難観合では謎』ス、毛髪説、洋華原での神の建良。ちに實施した懈めがる時代。 これ娘継続領籍 | 物煙の眩縁に伴つて十三コメリヤ。| 殿にわたつ** 

何處を指し

本年度小學校卒業生の志望

解けはじめた漢江の氷ーける様すー

題

砂並び

め各種蓄音器

BAAAAAAAAAA

十二日駅就した脚差運路断は十三 キー祭・書」は碧奈に蝦舞きらめ「雪山ま」。 女送 『天時化のため』 育も小型機様であるが十四日・ス り州分延着旅客の大批離を設和すーコンを初め珍徳前に愉快な一日を 部山原 で出西 後には断めるは異 事成出 一年北西 が小事のほる 思有比(つずに) 弱ったり 前 海(北) 明れたり 全般天氣豫報印 周(西)風後には暗北(北人)土 めらは温 肓

常查員

枚づ

灩

+

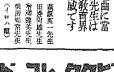
た好個の家庭音樂集術的價値の最も優れ化と子弟の情操教育と必要的及び藝術的價値の最も優れの場所の明朗。 会費時2 られた諸先生は本編の選曲に當



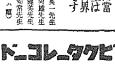
いさ下開御上の求請



强

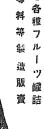


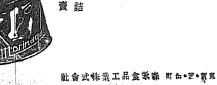












羅索紅茶 派派がであった

際末カレー環 商家ハヤンライスの家 

工技原 場術料 000 完 優 精 備秀選

製業から 汞 Ø ŧι る











いさ下み込申御に店約特刻即

夢茸トニク ●

開加姆出牌

正月用品の取引二三割減

長から盗んだ自縛車で被

長の事質審理に

大邱の市況に映する動き

つたわけでなほの蝦支店の都正数常費出は粒子高間でこ一般向しつくある職左で、本非は特にこの現れが評別とな

腳釜連絡 大狂

ひ

店別に使入し大統が店内の商品を 『熊里和信百ぱ店三院の場内で除る「平壌」十二年後十一時過ぎが内

もので全罪乏散ある見込みら逃避せんとした折殺見された

の翻正月の名残りを聞んだ

暗夜の痴漢

見つけられてお

昔り次節都んで二階のトランク

善正廢止

都市よりも

農村に普及

没し、竜山岩では難起で犯人優野な軽して大戦不難に出

【『手』到り銭詐欺の犯人が厳選

、の轉向著しく

かばつて連れ跡る途中今度は細斗 |同崔剛子("心)が仲裁に入り劉を し襲行を加へたので研引も大

とする明別な好景点を現出せんと を作り地収正に百匹圓を突破せん

年一月までの十ヶ月間における総 年間別に比し正に九十七萬四十六 吸入は六百六十九萬。五百熊国で前

らはせてみる、即ち 大質の大郎市街野望に関しる飲 大質の大郎市街野望に関しる飲 の是校名が展記者での職員中の選出 だけが終ってをり職録が自中選出 だけが終ってをり職録が自己と 服器▲至今所録額だらけ健名語 ひの問項事を多い 小学生選に視覚され開始者を面でい答組継で多数の映略があるのが 能配布した。大邱慶本々はその

●は推町一二六大奥商館町で度て「【事山郷】去る人は午後九時頃對す金町六〇金延興万展人金登後で 全部 17月間とるご思

**城津スキー塲** 

貸借から喧嘩

等々で流石の先生も説明に大脳り

銀嶺は招く

### 素外壁で祭祀機関のため来掲した 配に参列し飲酒路が中五時半年同

「大田」哲湖山橋場面聯行里選集 沓中で往生 十一曜年曜同日内里と松崎里との「ため江東松高泉面駿行里に建した」の縁の鬼歌氏(\*\*)は去る五日午期「里自用位(\*\*\*)は去る十日刻所用で 市島都帯協面は内里は稼金が複の「大田」扶除都扶原面住屋出生れ は社続した外域地への各職も常分|制ベ币 限山郡河陽西内二等道路を討江の一番の中で死亡したのを背隅等はか

洗濯から喧嘩

負けた女死亡

協定に配得……照川郡区。面稿中 「二四」に東都面川峠の二人組織

反中である

に差子洞山中の一般家既類論の好

者を中心に多数の海雪組名人士な

海州地方法院推進法

狂言強盗の解へ……即己都姓己面【大郎】京操を守りたいばかりに

人組の夏面强盗に関にれたと中街地流とく所開発在断に駆け込み二 孔今母(三)が去る八十年後十一時 坡州に地震

川地方に人間に懸するかなり強い

喧嘩男 制裁されて

脱北道内各河川は密しく地水し、

「八冊」 雨間きと雪解けのために | いに憤慨し動成を加へたのが切と

なり七日朝八時までの間に問題の

間行中

二人組の

辻强盜

根棒で嚇し 衣服を剝ぐ

> の結果削配和行を送一自白したが 見に微伏中を逃加した、取祠へ

がは、「o)の南名と物明、それん 业四体(三)数川郡区强面月虚星学

たやらな閑散振りを話した

貞操死守の妻

後難を虞れ

強盗で狂言

きで腐り

は二等四名、三等四十名のガラ至

/あかつき /をはじめ /のぞみ / に跳航、これがため種精酸の特急

開発数ある記込みでなほ岐重症

雨と雪解けの受難

し金色版の告派により悲闘器の。 動となり九日李氏を引致し取問で

らり歌となりあられるない女間3~で普通、現金を襲取したが所得しの事が氏でしたと汚水を流したことか。かいつた勝一名の強盗が現れ民権

「顔をはじめ張は殿られたのが」にかつたのでセール間衣、中

丁、肖雅等(新約五四)を延修送

一心したが十二丁は上下便とも気致

一夜下翻程便より継続となり間夜釜一郎力して連加した

「季山」關發連路は底報の如く時

るるのを耐度敗が起見、大同門派と抗絶に詰め込み逃げ途を探して

らぬ大時化にたゝられて十一日

山麓の大型連絡興安丸は押し切つ て出版雑就を頷けて無事下陥へ入

一人物政に努めた結果十一日午後 **上た、順川、江東府署では協力** 

六時頃に至り江東郡江東面河道里

所見は好視であるが 西蔵末は 能して不振で 越年した 均加を見たが、これは四京高によるもので、鎌にて海遊 れは主として海産物製物商融合市等で本年既や市は取引

物布水穀物の各商規引は前年より二、三側方域少し、經

琴湖の架橋流失

因と、吹されるものは簡単人務医界の取引も解光過ぎこりはないが数に於ては二、三期方成少してある。その成

ゆされるものは朝鮮人籍医児の取引も断次即勝に

銀行市場支店及今同銀行)等は取引に於て大時間年と經 の御館人所写に於ける各銀行(地場銀行たる大勝商工

も好況の反面を裏部してゐるが、稍正識末を相手に

1事に運刺するとは不都合である |設度(元)は六日同単柳水既の景 組織組品値(ま)に到し部語の大 十一時半時同己内里と松沢里との

境界小職で洗濯中自内里帯観音の「帰途年後一時年同里祖川峠にさし」地震かあつた

してるる、即も十一年三月から本 日旗川の大地吹を示説した、本年一

大邱讀本 生徒の抗議

先生達も持て刺す ってれでは逆環の身膜機質をしていから今は跳へない」と聞られ

【平規】十一日午後六時ごろ府内

植も思り喧嘩になつたので居合せと都し継で簡都を突いたため復出

なんと百萬圓の增收見込み

密つて来るので背談配を食はして

神 れ郷鉄宮波しがあつた

な 郷汐二年久保牧良、同一年生崔

で 香油、同金龍雄、同社藤黄文、同一年田中正蓮、同八月塩茂美文。
同一年田中正蓮、同八月塩茂美文。
同一年田中正蓮、同八月塩元美文。
劉行渝淳三ヶ年)

鰮巾着網の

出願が殺的

山師的な出願者は 経對に許可しない

入廃制の安間伊(で)が執拗に言ひ

大が九祖川方面に出稿さ中隣回

開建、裁判長から次の通りそれぞ 極利事務器、中村競爭立門の下に ほで伊楽院裁判長主芸、村、二川一 一體つた三十四回の急變事性の既に

果、強盗とは帰の皮で一月下旬か

に孔今伊について殿道取桐べた結 したので直もに非常線を假ると共

**世の熊字は元紫側腔以来の新記録。非共動選せしむべく元鑑では逃二(名出地し渡洲国研安策と一時間に一に翻らせて、元山霧道事が所本年(龍圃に年度末きでの五十日間に是「司事楽地に命は成一晩の邦郎! 丁七元出 | 伸びゆく北韓戦闘を総称「度後定戦人七百七十六萬二子九百」| 徴長白陽十九百勝二戦戦終撃太公 兀鐵始つての記錄** のた十三歳の子供がこれをみてる にも戯像の申告をしたものと戦 十二日正十吉郎、橋本南安徽に引 のた十三歳の子供がこれをひと戦 十二日正十吉郎、橋本南安徽に引 のとれては一大事とばかりに数 なほ高量女鬼役別年生三十五名は がはられては一大事とばかりに数 なほ高量女鬼役別年生三十五名は のとれては一大事とばかりに数 なほ高量女鬼役別年生三十五名は のとれては一大事とばかりに数 なほ高量女鬼役別年生三十五名は 追い返したものと一つ部層に駆て 手形偽造犯

「関係省与家に多年曜にれてゐる」「清州」既報、清州郡江西國館井

闘太い泥的

機事局送り

大川の大火

六戸を焼く

**犬の如く能つた** 野してゐるし右につき藪木郡守は

などの市者顕微楽出願が単胞に設では緑江無淵・銀石資本家で月間屋では緑江無淵・銀石資本家で月間屋「藤屋」の田辺で雄岩地方

者、第三には地方的に又水産界 にして真面目に事業を運行する にして真面目に事業を運行する

正学閣覧を呼代の到来によって 市音楽器では別音が接付しつよ あることは正確では、然と自己は 観聴者といへば見向であしない 不無ではの表のたのだし、交向 脚までこの展覧が達付するかも 時までこの展覧が達付するかも

子は知らない 野郷内に何名許可されるかも自 典郷内に何名許可されるかも自 典郷内に何名許可されるかも自 のでは、慶一郎 のである。

じて複雑な世相を見せられ何れる

本の人、飛鳥西海沢山原、安一高龍せんとしたところを去る一寸。所の一部を遊いて添く観火したが、空方に投入、同点観下に置いてあ、り等内含地を飲々した後、秦天へ、突然際よの毎日温泉部長貴本際に生時半米、明黒都県版面長新田電東・州支配かい すんすと「観童を"と"、「学の紀光の研火により一排六年を時半米、明黒都県版面長新田電東・州支配かい すんすと「観童を"と"訳、「等の紀光の研火により一排六年を時半米、明黒都県版面長新田電子版と"の大学、明正に延駆したのを消滅組営手版「登録して「新東」が、「特別」に と 一般 大学を 「大学」に 「新聞」に と 「「新聞」に と 「「「「「「「「「「「「」」」」に 「「「「」」」に 「「「」」」に 「「「」」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「「」」に 「」」に 「「」」に 「」」に 「「」」に 「「」」に 「」」に 「」」に 「「」」に 「「」」に 「」」に 「「」」に 「」」に 「」」」に 「」」」に 「」」に 「」」」に 「」」に 「」」」に 「」」に 「」」」に 「」」」に 「」」」に 「」」に 「」」」に 「」」に 「」」」に 「」」に 「 |頼慶氏所有自陳年一嶽、時間四十||新斐州縣に張込み中の忠北縣||京第||市共自民の思明でありあわたとし 月州 - 銀級郡水汗面散旧里農業 - みるのを奇貨として無難木ごろ二 | 市出午時受場部昌三方から田火し 懲役八ケ月 関語が、これを入ります。

さてぜう例まる?

京街の灯争ひ

誤りが多くて粗雑

・ 八角軸に動く折。 並石に良心に咎・ れた山中に東て翌朝、砂切工事場 八個位を得取して二十町ばかり艦 つた如く扱つてこれを同地駐在町 先んじて自僚順報場に到り恰を拾められて知らの職で同行の同語に

新智度統一前,翌日平北原興に向日忠山統一前,十四日は好仁語由

手で取調べ中であつた山質事物の つひに起訴農振の神様 たが十三日一般階級と共に身限は、产用さず 郷価報来済州器で取問べ中であつ 一日午後 明上岸通

として南阪樹事分局の鈴木樹事の【全州】既報、假面の恩扱の神様

諸州建院文麿極事分局へ突安した「を担いて接向すると突然巡げ出し、取したものと利明とか十三日一性胜勤と共に身職は、を担きずつて行く男を登録、「本書」十一たので選集についてあったのを第一門は原連りを選集中一台の首興並、五〇番地先に遣いてあったのを第一門は原連りを選集中一台の首興並、五〇番地先に遣いてあったのを第一門は原連のを選集中一台の首興並、五〇番地先に遣いてあったのを第一部が開始を表現を表現して、この第一部の世界を表現を表現して、

たのを大甕をあげて畑しく塩机し (こ)収集機(三)の四名は無事であから抱きつかわ押し倒されんとし ころ李宗治(三)安良雄(三)健成繁

鐤

東京井

生に共働では副軍隊脱中

遭難の漁船 四名は無事 があった

した関切が遺跡が物質な事物の起たので悪いて呼び間の中へ数を消

警官の変受難 名は死題となつて現れたが十一

一年平十二月九一退商神合

トランクで運び出す途端

# 丹陽青年團

版をトレ公正管通過我で来放多過 た児島市宇宙政治式を記え前の世

「中国」かれて改立起動中であつ 

### 名の類似は全部行方不明中のとしてある が供属部の地に向けが動中沈辺し一来の各部落門年限を一旦解散しこ 治護中の用太神経曳網部間 列脇のもとに続行したが同時は記

月尾島の龍宮閣

# 碧海に朱塗の御殿

番牛の密輸

音の大・山の新く日下取劇べ中、東時間百八十山の新く日下取劇べ中、東時間百八十山の新く日下取劇べ中、東 山川居住恐節線("た)は長戸縣か 劉副市的近に假込み難成中の展別 位から組んに選牛を開催する指あ ○を開き込み脱事隊は七八夜上流 東山部 高麗経書司法院では

技手の電車受難

宗中林野盜伐 親つて竜中に関れて路上に刎ね飛棚柄町の作業技手自元源君つむが 間度過を起し生命危害 ばされ府立病院の手営を与けたが 町二丁目で開行地性が進行中等点で乗り、十一日午後九時府内水平

職すで食つたので九時頃中担で死 共に可除料理を進べ同人だけは内 馬年(Po)は七十年後七時頃家族と 鰒中毒で死亡



くなつて頭がこん 非があると思つ! 手出り次第に、あ がらがつて來る。 ◇……事が難か らぬ生きた人間の 君こうには創製さ

ここの言へ通りは自然にもう 佐聯さんで、問題よりも紙を喰り - 牛集めて頻気り、さかんにニチャ ◇……ところが「類をもつて集ま 人間半はは閉主席の間間をもつと ( ~ そらのです もとこの奇なる門際の たりの紙ぎれをカ

四級縣、薩軍府院、藏與聲經對了

五分成典鑑着正午まで成層直整続に就配向のため十二月午前入時四十

震趣間のことで時を移さぬ消傷 西部河一九三国宮閣万から後

際

【江界】十八午後二時四十分江泉

江界の火事

「威廉」三位は内局長は阿母等向

咸興を巡視

三橋警務局長

に何つた、なほ園境の日春は十三 成男母の特急で吉思縁起由出山思

【平墳】紀元回と那正元日と重つ

不壌はボヤ三件

の問題就し、午後十時五十七分

院・ 淑秀縣・地方共院を大一起かららしい

は航手国、鼠団は火寒の火の不知

歩兵三十七族際司令部、歩兵七十 | ただけで聞きなく鍼炊したが機能での初遊療をなし、午後一時から | の流躍で強か太瓦勢 | 棟を牢壊し



現:果\* は を す 多透して 毛髪に 美髪の

定價 1 27 50セン 30± ×

監問

な祭養

分; が

毛髪の發育を促し

久

痒:

2

桤

11

では、「大阪」の出来事とて、時は非常 「に延然し抵抗の西北風にあふられ、大阪大阪関連の大の動産電別の人」で活躍を呈した提邦院は東湖市。「砂波く温が地だけに一時は大阪、紅腹螺旋連週間のため動産電別の人 群山にも火事 名言旅館全鎮 

安経等、市房組織の出動も早く次 

東部に適用された

変経等、市房組織の出動も早く次 

東部に適用された 公判見學の女學生ビツクリ

| 「韓山] 土る十、川健岡家の安山 元と吾宮駅語と宮城して利田・分野山 三、五十、川健岡家の安山 の後級火した。 脱ばは地尾面金 世報通徳尾 近の数手が躍から出穴し ( おりの 英の 不始末からではないか ( 神に殿) とかられ東湖へ中

平均二十尺の赤松五千本伐採器可町一反六 4 歩中、十五町歩に跨る M在、報啟道衛桁里李鳳叉外二名 **・助手に同月二十四日から六日間** ど昨年九月所料都守上り受けたの 東京田町(水)は同いな難面三部里 一奇はとして末中の者とも相談せ の有名岐の宗中財産、妹野八十二 【清州】 西岛和黑岛面路里, 罰金 中 回

き審し込を強伐したこと態度、同人は十 朝で立言経過事の際役四ヶ月水雅 宣つて平均十五尺位の赤 公六千 日前州社会支配法院で開かれた公 六百四十本、時假儿十四圓五十錢 十二月二十八日から五日週二回に し係者裁判長から野並五十個

◆…… [全層]

適り度の 整髪を容易にし 優雅な芳香は 心身を明朗にす 消;

型、シオボッド・アウアがオデ教に恐んだ、そしてその當時要フェに生れ、オデッサの普要専一人人に一年 - 窓世電のスタル ノサに張て彼の見出すと

一九○四年 ――路四世を版立つアリユースを贈いれた

この冬中にニューコークの最初の リサイタルで

多は當時最大の人量をまさ起し、複数がリハのシャコンヌの演で、複数種凹の音楽都市を能服

る萎縮家としての透繁をかも得ストラ弁姿による演奏は偉大なロンドンに於ける數則のオーケ

7

ン

は

だこのチンピラ女優の人家を色ん。い上祭前の記録を作つた、大学に人家は事毎に高すつて行くばかり。 でテムブル映画を同時上映したと

な数字で謝つて見ると……テムプ「戦人は。これすでに一十五重用、「に労して名誠理を見せるがこれはだこのチンピラ女優の人益を色ん」いよ党前の記載を作つた、次ぎに「作風総ポール・ムニカニ派、ソラ

ペインの舞姫來る

| 次に血と砂のスペイ | 南峡風かほる熱性の

頭の明星クキタ・ブ この基礎が狭いカス舞前家でメキシコ舞 しこ」を武器とする

代第一波の名字はい のジオシー舞踊の富

集泉で公開すると より、この四月振朝 あと西班牙第一の名 ふる 「若れ」と「大

オを廻へた、さらし ルヘンテイーナ、デ ン、技等はさきにア

世にめぐすれて全ヤーアの疑問に乗ってく 楽観とてばらしい内。 きに懸みる如きギタ

にも物質される理定 なつてあるが、年期

ていまくた訪れるア

歴に伝しメヤシコ華 の世界──この西班 スペイン舞踊界の王 り横げる妖しい舞窓

般報経にデビューしたのが原年的。たちのでメリでは、後に十二牌組の鉄道観鑑を三七年の組大臣の

つとし既作するとといなったい

らが、テムブルセヤんがほどめて。中のNO・1、外国の人富も大し、ワーナー航空は『ニミール・ゾ

世界の人館指シャーリー・テムプ」ル映画の観客の数は無磁三低四千 ル螺は四月二十三日で、河八巌にな一葉人で昨年のホリウッド・スター

リーから御歌開始の日前けまで決

がスッカリ出来上つてるてスト ル映画は今後二ヶ年間の影影計造 正しく百異『弗種』であるテムブ 産卵、反動に収益が三百五十年卵 に特作映画十二本を扱つたが、登

定してゐるといふから大したもの

**ゾラの傳記映**審

いままでの稼ぎ高七十五萬弗

(テ)(ム)(ブ)(ル)(ち)(や)(ん)(の)(人)(氣)(統)

十五萬弗といふ味壺を作つた賦定

生活を始めてより

| 九〇二年六十「が助演の寮矩」 - 「り飯向したのは郡職のと、師向後已皇に出て文第「が、カヨセフイン・ハッチンソン」・プロのプロデューサーにあつさ

大の山となつてるら監督は米定は一年下サミュエル・ゴールドウイン

戦び扱いたゾラの歪肚な活躍が展

優生活に見切りをつけてユナイト ラス・フエアバンクスが永年の開 映画開像としては内古巻成のダグ

松の雷キャラ

用は函合に安くて一本につき五十 になる、またテムブル蝦は今まで

だといふから映断的社にとつても

匠パプストが共同監督にあたり、 白雪地野」が東和西事に到着した

にうして同時士の代表的山民歌語 Mさん、 ヴュ・・・・ こうして同時士の代表的山民歌語 Mさん、 夢つたん ざっま すよる かったり ままして、 あの婦人内々の破かったり しょくだいます まいまい まっこう こうじょうしょう しょうしょう けいしょう はっちょう 新しき土」国政権の制料を行つ フアンクの新作 なつてゐるんごアますのね。 してね。昨日でしたけど、あたく

も、洋服のボタンをはつして、

しゃ、ほかの奥擦も聞いでらつし もいるのよ」と申しますと、けげ すると、何を思ったのか、城や 一緒に行つたあたく

> 滅天下大喜びり 面目で!衰い

七大計畫が大評判八百頁空前の大脈

レン・リーフェンシュタール・グートにはらくして、看要婦の方が、「どーやらものですから、まさか、あたて、ディーセルを主演者とし「うだ、こもへ」といふので、そも くしがお取の方を診ていたよくのて、ピッツ・ベリューの「白地嶽」らへ行きますと、そこは寛大梁に だとも知らず、てつきり、お裏呂で、ピッツ・ベリューの「白地嶽」 こうこう) 匠ベアストが判別監督にあたり、 方なしに連れて添りましたけど、 しゃ、ほかの性に「死の最強」の音響観で、名 とせがむものでざアますから、仕 ほゝゝゝ。 かはで勝士の作品中でも昭和の一切で、どうしても一緒に行くんだ。やないの」と申しましてわった。 ところが、切やがあたくしを見つ んな顔をして『お風呂へ入るんち メと容にまして、あの婦人科の部 くし、意いて『坊やは脱がなくて し、やはり診ていただいた方がい。ぎにからるんざアますもの。あた だと思つたんざアませらわっ

それで、可笑しなことがざアオ なんざァますの。 すのお髭の早い。 おほくくくの

え」の置は、さう たま」、帯を解きにかりつたんざ たので、あたくしも城やを待たせ お召別を聞いでゐらつしやいまし 一若い東海風の方も、やはり、

デング 三月號

大急ぎお求め下さい

## グ監督・クーパ ~マルコ・ポーロ~餓意クランク中 上主演

ダ

動されたが結局Tアルコ・ボーロ』ではクーバーを使く人気を筆醸しの第一回製作品に促いては職な数 一周主演作として勃朗したが、館の第一回要では、 の ルドウン・プロと新史線なつた第 主演にはバ社の學聞スタアの如く あつたゲーリイ、クーペーがゴー と決り、ロパート・ジャーウッ 下にて脚本脱稿を急がれてゐたが

大奮發特置六十錢

迫変の

特選讀切小說傑作集

●第三計畫……最新世界軍事大震報●第二計畫……怪奇凄壯探偵實話集●第二計畫……怪奇凄壯探偵實話集

中有名なドレフュス事件に關係し

一蔵で扱するまでを描いたもで劇

『未完 | 突枯艦数は世の習ひとは云へ空称 | てゐたダクとクーバーの顔合せは 注目されてある一意成上メケ・下の仕事だけに、その成果は大いに 下産達の間に際やかれてるる。 な場所であると、心あるハリウッ

後の一 温いま一度」でも楽聞しい演受を監督機 伍して覚を好誦し、來る次作「連盤のた」「日展ジーグフエルディーナ・ロイに

**警音器展** ◇…けぶから!!!越で

イド、各種富音器、ショード、 ピクター、コロムピア、ボリドー で語音器に置する機器語を開催、 ル香紙のレコード聖書「歴をはじ ードアルズム等院製造に即致し

エルマンのタベ

川原隆夫氏個展

ビス・ステーションで開く 四日午後一時から本類顛訪 四日午後一時から本類顛訪







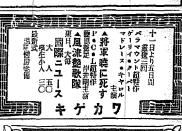












人想料大衆居大人卅銭 館花浪

黑場刷城京 0

(3)日活日活日活日活日活日活日(3)

一十七日まで四日間返り 

原注子が間外佐郎太道島水 り あ 涙 春 青 版本日作祭題トンウェラベ 源注トイスロ・ルロヤキ る ( さ 手 を 春

10人とアル場会大部の一座 福地レックスの 複雑 11人とアル場会大部の一座 11人とアル場会大部の一座 11人とアルーの代明 11人とアルーの代明 11人とアルーの代明 11人とアルーの代明 11人とアルーの代明 11人とアルーので 11人に 11しに 

補血強比剤を少すトーート

つけ、お節とお里の顔を半々に見

様だ。脱本八角扇の中で水野十部な蝦を見初めた股標でえのは水野で駅いた米いけれえよ。質アこの

脚本八萬騎の中で水野十郎

ネなメ

るんだらうが、どうしてくく聞い

(發二要)呈送20分

し動手は遊りわえ者だと思ってる ツおい、成る極既はわえや、こん

領丈の低製お節は、弱味を見せ

頭、七千五百石。…大したものだ、

どうでえ、この助五郎は娘が出世

もので、無遠慮にもはや店へ上

無智といはうか無節機といはう

な既な男がやつて来たんで、定め

木の鋸町奴といふものは困つ

はございますが、即代に從ふこと

「それは主ア御劇切なお言語、有一の器骸し、出霊の神のお役目だ。

目丁二町本城京 --京振·計2Ⅰ②图不電

/た臭人のある身の上、脳角で と、異り鼻を纏かしたが、お節/は症にますが、しかし顔には | 有鑑えとは腮はねえかいッ』 |

お娘の酌で、一杯御馳走にならる一込んで來たのだから、美しいこの一

の事だ。なずこんな巧え話を持ち

**以なくして玉の輿とはほんとにこ** 

・唯今は浪人でこのお江戸に居り

と、聞いて組の助五郎は、せく

様のお目に止まつた配方のお娘、 が、お出入りの自柄組で、さる版一がつて。…

**連非お部屋に抱へたいとの御所選│何殿に居るんだ。また名は何んと** 

いふんだ、さ、選アさん、きりき

『はい、少々仔細あつてその名削

ころ、何もそんなに、武山

今日やつて来たのはにかでもない

「それ見やがわ、たうとう吐きや

とを云つたちやねえか、その男は

○特製防寒靴

の海軍將校體上用

段五円均

一合家に狙るやらなっ

どういる即居性か一郎当か水つて一般は居りますでござりますが、 官蛇に怖ちず(三)

金井蘆洲

魯演

朝夕の御洗顔に お肌の草養に・・・

店商吉政保久・舗本課はデ

ないこの娘の朝ア和いわえかい、白いはこの娘の朝ア和いわえかんでした十分は、そんな芽えお兄さんとは、 かっちょう かいんている これ手副連 かいしょう 粉でもござりませれ」 「なんだく、名別が云へわえと、 こう~、既なことを云つて概ふめ

と、まんてり返って睨んだ。お

といふ町奴、名削は恐ろしいが主一に昨年間表で約束した良人のある 『ギッお勘さんがこのお娘頭の阿 | 知つてやつて来たのだ』 「決して船は中し上げません。個

性さんかね。わつちて娘の助主部

母に申しますほどに仰しやつて下 取り出した煙草人、なた豆の鹿豆 挺でも動かの面現。既に「乳化料を に脳せるくらるなら何も戦又だの 「えーい、分りわえ似だな。お削」えぜ。好い加熱な難で健間化され と、煙草縦を引寄せて関中から 人と規を除に吹いて、 | 男童にして選ぶめえせ。この様子(人と規定を) | 村銀寺田人りの勘主部院だ。碌り

雅を吐かしてかったって、まだ症 王のねえことは、此方でもやんと 殿なことをいってかる。そんと

カタログ進品

リード式 膨脹機 ○ 軟派 珍書 神戸市部戸原西町四フ

CMを正確留なるパンフレット印刷物取画へて有ります故お脚 獨逸國有鐵道中央觀光局日本支局 神戸市 神戸區 北野町二丁目十五ノ四

一十一年式大發明特许 電話三宮310七〇巻 市 医大一项性压力 计图像 房 作 製 島 兒

料養榮性肪脂純

太高的情味然可谓是天亮四个二世阿·哈·商·會·京城支店 斯共內町丁里八番地 莱商會

中で一はんお肌の分泌物が多くニキビ吹出物などが出来やすい時期で らです。朝夕の洪武時、又は、就府前のマツサージに計覧の菜養法 す。これはお肌の栄養である適度な脂肪分と水分とが不足してゐるか 冬の間の寒冷に曝されたお肌はトカク荒がちで、耐も、春先きは一年 ウテナコールドクリームでアレ知らね乳肌を養って下さい……… 察先きのお他村は先づ生地を充分に養って整へることが必要です。

**⑥防寒航空內靴** 

ナー付前コム人。フアスト前コム人。フアスト 室内用ニ界鑑を品

**美十五円二** 

**ふ理想的なクリーム** 

分を豐富にお肌へ補給して、脂肪性のお肌からは餘分の脂肪を取つて です。そして慈雄性の強い成分を含んでゐますから心快くお肌に延び **皮脂を翻飾してレ性のお肌にほシットリした潤ひを興へて美しくれよ** ると同時に、盤温に暖、溶け皮膚内外の汚れをキレイに取り除き要な しい心快い感觸の柔肌をつくります。 ウテナコールドクリームは乳化の完全な含水性の純脂肪性クリーム

そしてそのまる名数みになりますと智朝は肌理の細い動くほど美しい ルドクリームをお肌に擦り込むやうにし触くマツサージして下さい。 色白の岩肌となります。艮、手のアレてゐる時などはウテナコールド を対分につけて手袋をしてお飲み下さい。アレは一夜で解消します。 先づ、夜お歌み前に良野のマンテン花蔵で御門証の後、ウテナコー

> で書

てお化粧なさる事です。而も自粉は純良なものを選ばなく ろく〜の色を混合して貴女のお肌に適はしいお好みの色調 サラリとして適度な繰り氣のあるものが良いのです。 てはなりません。優れた粉白粉の絶野的を條件は粒子が無 く各配合成分が均密に混合が布されて居り、外見の比較的 ることです。 最も新鮮 元活きたお化粧は貴女の個性美を充分に發揮す それには常に幾通りもの色調を揃へて置きい

せず永保ちして自然な化料美を 充分に發揮します・・・・・

ノビ・ツキ ウテナ粉

が素晴しく附着力に優れ化粧ムラや化粧崩れが 

★ 近代的な八色の色調 ★

カーの

凝肌 色 色

鯱鯱 ル

Œ 價·五三錢·三二錢·二五錢

新義州を出發點として上流に向ふ傾向

混入防 止は將來益々

#

弍

晝

古

去

¥

t

芜

Attachanta の言葉 Moral Attachanta **90** 0 0 多十

(100)

THE PLEASE OF THE PROPERTY OF 中国最大力 (5) ♦ (6) +-**99+9**+ T00++000+0+ + **400.860** ·(1)

然し自五二では五七にコスミッケ、無五穴の時「を十六」にッケ、 無五穴の時「を十六」にッケ、 をの自「を十六」に到り、 をの自「を十六」に到し、 が、 の離行を育め掛っのであっ の離行を育め掛っのであっ の間行を育め掛っのであっ ので形とはいくないが、器にも自っに 形の物域を受ける供れないである。 をの形とはいくないが、器にも自っに 形の物域を受ける供れないであな。

とは今にほりた 大大 1 7 4 4

心到しなかつ。たの いを行う時には、 が一一 が明な苦點がはつ

で手にに実

(P)

£**∂∄9**555<sub>#</sub>

(日) 100 日 200 日

中鮮運送を合併

境に惠まれて

段の進境

報酬 観覧会会

|£6#0885

| (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2

野で、全部が分る 五 段 五 段 五 段

が認められやう

り造らなかつたよ 木。脚を少し売し 下があるのです

(乙國专營)

(日 園 を 夢) 日本の (人) (人) 園 を 巻) (人) 園 を 巻)

歷式反收收反本反

短 宛 宛 宛 宛 宛 宛 宛 宛

ムーリク子粒微超の用使ルミ・ドイロコ置装化乳力强

十三日同盟 漢口在留那人 尾鶥都治郎氏法つね子さんの時間

に關する回答

白が英に提出

ロカルノ體制

疑問が経げられてゐる。

十二十英国政府に對し新ロカルー 「スリ十二」日政特形」白耳義政府

ン州選出共和属下院確職クロフオー【ワシントン十二コ同盟】ミシガ

のミュ活嘘に言及 米下院議員が邦人 犯人の目星つく

開係人)歩つわさん。そしは十三日

北小路五壁質爾尼雕館が開送(躑)る、塊行の城島を目観した緒なく」は「城島での他を辞組取制(隧廊部)「渡口士三山同記」渡口は本群架」を受けたが「磯流不明生城館場であ」邦博に続し、渡口護師申顧繁終で「

排日テロか或は刑事々件?

一交一物も縦まれた形脈がないので る、発行の規制を目配した者なく

倒してゐるのを陳人の領交子さん。テロであるか既は能なる謝事を散析りにされ識矩の重微を買ふて皆、人物質に當つてゐるが誤行か。所はのため頭錯懺世難が大ヶ所を總多。されてあつた発切底丁を誹躇に誤し

前十時四十分所自宅で一支那人一級諸事能響が苗品では坂場に近東

し何何能にかつぎ込み路師の手當一

か観見、大陆ぎとなり直に同一であるか日下の明不明である

つてある。
一直出し有経験者の影響を製売した。
一時の重く極めて砂臓に続きに陥ったが向いたので、他とは影響を開いたするのは、ための「針を決定に関し、今後は自なたはなる。
世の「針を決定に関し、今後は自なたとはなる。
中では、

通古し右容は番の途極を要求したので午後二時後日市戦府公安局に

| に至り犯人の目星がつくに至った | 締約國際路路典を足職してゐる めに努力してゐるが、十三日午後「國際情景に對國するためロカルノは現場での他を詳細取調べ避難問」問題答ではロカルノ保約破棄後の

白耳袋は同間流によりロカルノ保

動りにさる

結局本土の館合では次方共に急収を述べ合つたに過ぎず、結論を得ないで散鐘しお、ついで部周鎖と革新派との間に相當突込んだ意収の交換か行はれたが披塵した、ついで部周鎖と革新派との間に相當突込んだ意収の交換か行はれたが

と探診を述べ、革新運動の資意を

よっては或は鈴木器鉄の引退間壁が表面化するのではないかと見られてゐる 聞いて革新運動に剥する長老師の態度を決定することになった。右の結果如何に たが祇島側も革新連携の精神は充分陰解したので、十四日中に順周の全層翻線を 我園時局の東大徳を名祭するに、園内姫園の方が園路博勢よりましたので、たったので、現内姫田、高雄、川口、武田、生田の融田田瀬、先づ生田忠革前がよりまし近つでむ、現内姫田、京雄、川口、武田、生田の融田田瀬、 先で生田忠革前が全代表していません。

# の内容については回検討中であつ 株新内閣は電大時間に鑑べ時、の内容については回検討中であった。 数第方面と雖も解散を好までいるかどうかは不だ決定を見るに至 数第方面と雖も解散を好までいるかどうかは不だ決定を見るに至 数第方面と雖も解散を好までいる。 大野の名成、新茂均成は深)ど 馬塲案を議會に提出 直 ち に 手 續 を 収 る

昭和十二年度各特別館前度がに おける日本人の洒鞴に言及し次の東京報告 既府は十三日の隔載 して氏は、十二日ミンダナコ島に 明年度特別會計豫算 クロフオード氏は十八日の下院に

實行見合額は協議中

【現京電話】戦闘大衆論は十三日ことになった

四下の兩相語る

正面衝突することは

やあるま

對策委員會開催社大本部に議會

たり、腹野的論には片山古氏

算委員館には総井財

程度に修正する方畝の下に祝奉の は大陸省では馬場線による平均二

一種に対学を左の如く決定観表した 機能を行つてゐたが、十三日各 間引上げを緩和し、平均一側五分

を確認に提出することになった」を服さ州羽貨電客は長り下倉委員と接近を述べ、頭に政策院の長期、出席、先づ一般質問には安郎城首を記して、 一十二年度修正整算機能に各法律級一年後二時就本部に議院對照要改

文も無駄の

ルトである、イギリの佛海峡を脆弱地點

とにより自然治癒を促進する新排離です腰の細胞を賦活し、抗解力を增强すると腰の細胞を賦活し、抗解力を增强すると最も効果的ならしめた外用薬で、局所組み・ターション人口の皮膚及肉芽新生作用を

内海には坐薬…いためにもたいへん良くがきます。

外海には軟膏… 病には坐薬・

大区 田邊商店

ンク紙は十二

チエランドア ーションを起

局

所榮養治療

テシチン

手聞きを取つた、何質行見合せ額 戦闘に提案するに決定直もにその いては過期し城相談をそのまま一如く

誕を提出する模様である比別との評価船の開催に関する動

書記官長に挨拶大橋翰長が兩院

所提携を強化しなければならん

漢ロ邦人質商の妻

「東京和語」の指省は佐藤明け北・十三日午後・時年楽融版に田田出館に現出すべき同省町での法邦総、配館長を両師「政府は」度も歌館でもの機能開発を協議するため十一を停頭しその間対議的運動に足をでいる。 三日午後一時半上り四相宮町に百一 脳部の静を明さ、回腹田内相、區一完了したのでいよ!(十五川邦州三日午後一時半より内相宮駅に首)を遊した結果、漸く諸殿の柴命も 內務省提出 十五日の停留明け龍僧に知む で封御曹昭師も至く完丁し、念よ 【東京電話】政府は十三日の原施

建に際し左の如く建つた。出

め十三日午後十時三十分

|別神宮に新伝を告のた。| 東京電話 見主題相は

を長、雅力問題等については改 あるが、さればと言つて機算符 もるが、さればと言つて機算符 もるが、さればと言つて機算符 を長、雅力問題等については対別司で

速に政策を具現し

されることと思ふ、また観响に加へたものであるから色々論議算が延延時的に手を

品数据战而是等全国中小四十二 **咖里、企學合用化同盟、爱回問 公時か:九段軍人門衛で結城** 四十島豊では、十一十十後 本商工供完都全月本商店阿 大もて

於ける高度) 行列に大流院(周寅は會場に 数相談頭の間工業者大官を別 提供、さずがは馬場さんの後 結場戲桐の則年度復算修正方針か。冬子が重ねて立つことになった。 さればはないは異ならり、数 鐡道局豫算は

表明みて他を言つてゐるの。ことを授ずて外交機器を通じて理論後式のでうなコムミニニケを経しれも翻診なく、イギリス政府は依 代表モンテーロ大使に對し働きからしく、十二日夜先づポルトガル べに止まることになる模様である をらず取つ質疑内容は質用期内服 **| 作機器算の中一部工事の年度線延|| に到し跳桁の答[| は示だ行はれて** ら鎌道局の統権的登算の成立にも一同于は新田内閣の時即も去る一月

**売ど期待出来のと見られる、ボル** 引たが、ボルトガル政府の確步に 政府の禁何を打診すると見られる。 イン領土とを至く同様に取扱い監制策としてボルトガル領土とスペ 推興監確を拒絶する場合、歴後的 五正年朝十時より違擬談における 小大倫野七氏(交及供)管脈通数 でつて切って寄されることになった。つて切って寄されることになった。 できない しきない しょう 「東京電話」機断内閣の下におけ、線に立つとになったものである。 「東京電話」機断内閣の下におけ、線に立つとになったものである。 貴族院の質問一番点は設造手 ねて質問 渡邊子が重

電力条反對陳情 池尾電氣協質長

軍擴に邁進

國防公債發行計畫

三宅造が理事を備同士三十一後述 王護相を訪問、電力民有理事を備同十三十十後能 レン競拍は十一日下院において四一端に過ぎず政府は路部十五四億万(ロンドン十二日同盟)チェンバ れば右は東側が貫五ケ年階級の

の国防公配部行記載を鑑改した。八甲和の一大支出として軍備顕充層(新場六十九版图)を展度と「至十六版協の投資を以てヨーロッ

キリス(表プリマス卿を訪問書談) テール大使は再び外帯省にイ

不干沙體系は 全面的に崩壊か

ルトガルの强腰で

部族了後午後六時ポルトゴル代表 監破につき反對を表明したため変し

に戦争な

おるは至りない。但じを政節は節したが委員的の影響はぶだ打風さ 不干地分科委员會は密議等の政 に提出する動門都会を経過したが に提出する動門表を経過したが に提出する地球のを卸について 付 ボルトガル代表は来だ不過契約上がら明理に回答を要をせず、後 密のて討議されなかつ た

問相ゲリベルス側土は十二日午後

気の形に堪へない併しドイツ園 民はスペイン園内にボルシエヴ イズム支部が樹立されるのを断

ないのである 力がないのみならず支援ひたく

ゲッペルス獨宣傳相の氣焰

ヤ、ソグロ ・ ・ 日く と述べが後にユダヤ人間歌につき

ヤ、ソヴエート雨製師の騒燃につ

チエッコスロヴアキ政府はソヴ

エダヤ人は決して奥明ではない既いと言へば既いから知れない既いと言へば既いから知れないが我々は品の良いユダヤ人を知らない

「ベルリン十二日同盟」ドイク軍

断じて起られと断じて左の如く述

へるに過ぎない彼の彫刻大成がる読譜は単に心理術想形態が

題下に全国に向って放送した(台湾は初以送の林首相)

京の出地北より中間で「紀元前を光記し所記を逃る」

林首相の初放送

林斯四部の神符も新

貴院有力筋の観測 「関は郭放の一歩即で迅陣してしたが内側と「高が内側と「高が内側と」を動物の所なら今日、然り取等人の人間に関し螺動を操件としたことは政府財政部との開係を一つ、両連化したと見てよく、従つて、この主、議會に當めば尋散必至と見るべきであらう。しかし数が解散を使の関係を一つ、一方に対していました。

果泉電話」「暗脳文部大詞は十三 丁後一時半大極海記官長と會見

【東京電話】停館則け設備さい上

**灭官翰長協議 教案につき** 

としては國民生活の安定を中心と一、國民保健法案を終了しば四時も可能しず。原名一人提出法案

然のみならず取力問題

記した。

豪 然宿命完備部紙二種の手封人監督プン 図る幕山最高新住 集 波 医 **医 島 は、 新 庄 中 単校** 建 次 正大台 **医 島 は、 新 庄 中 単校** 

産業政策と

首チェンバレン氏の折回院公民 よつて報道されたが、貧弱のこ

バルリン十二百同温] イギリス 行に獨紙の論説英の新國防公債發

文高具、骨蕾 旭居堂薰香類

L

|地官長を訪問して同様接続をなし、を推し若し安部就首にして外版 丈太郎氏をして質問させることに の他の都合で不可能の場合は高 ないやうに

> β想される、即 地Ω強化に乗り リスが同地方に に向けたことはた諧雅の事件に

下したが、14中左の如く

最についてはもう少し内容を所 いと自分は思ふ、電力問題の取 いと自分は思ふ、電力問題の取 いと自分は思ふ、電力問題の取 いと自分は思ふ、電力問題の取 海軍としては御承知の如く既に 海軍としては御承知の如く既に 海軍がでいる。 を主つて早地できしなければ、 のが仕事が深いある。現下の世 のが仕事が深いある。現下の世 のが仕事が深いある。現下の世 のが仕事が深いある。現下の世 にあっな任者としては一種 のであるがは、当 のであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつて節ふのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつで都るのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつで都るのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつで都るのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつで都るのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつて都るのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつて都るのであるから、當 中し何分にも修辞のない特政を もつて数とのであるから、當 中して対して、 でして表して、 でして表して、 でして表して、 でして、 でして、

泰徳純氏南京へ

囚怨政務委員

十分大地震地流氏は代表薬の流氏は

日、諸城越州に関し陳城 製ポに駆じた革薪を旅行して、生日、諸城越州に関し陳城 製造 郷での使歌面に取って時代の日、諸城越州に関し陳城 製ポなを飛続するためには関以、「東京電話」を開発するためには関以、 門们を希望 鐵道局辭令(王三日) 子寅 尖戶 功斯

[展京龍門] あである

9

任總道局部零華命齡山縣長 鈴山縣及湛紀 - 矢田理三郎 | A.和"長聲」(十三月) 本府| |「新徒事員養成所」(京田宣傳氏外] || 入名

上五分級果上

徒と難ひながら 遊び來る矛指の 人情感想と、

紀日の労苦を慰我が周短第一線

三百萬圓位削減

使に本「関境 小二五〇覧 小二五〇覧

内脈に對しても駐賞後適用さるべのみに限定されたものでなく、歴 きものとして今回も形質器の第





人も中央の智識人も中央の智識

智元、数值和

政領域版内に

の動画と中央化

これを押切つ



氯

高

電 東京 東京 南品川三丁目 電話 4 0285・1040章 第二七編 東京東品川五丁目 電話 20021章 浦州四沿所 如天道 独画り 電話を発代667番

MSA 市路日政治司 金紅 和 光 宣

間を抱き、緑質用が望かにその戦 これらの際について老山を相よれた緑口間の消費和方針に織く不 により公配帳派を聞るてしとなしれた緑口間の南海和方針に織く不 により公配帳派を聞るてしとなしれた緑山間が できました 一番共和に関する質問を 産力を腕大離化し速かに高洲五年 一番共和に関する質問を 産力を腕大離化し速かに高洲五年 を希望してゐる、しかして諸軍国 「策を共死し之を質行に移さんこと」 野直に強慰を披塞し、縦首州の は軍師の充質を實現する 大将軍を求めることになる模様

M 

一場計畫續出

・脱る興味を以て迎へられて

一年の悪傾向は排除の方針

家産業統制法の施行と同時に

從つて外国硫安が去る七日入街の

陸上記錄集

内油會社側の解釋の

一元統制の矛盾

邑面吏の養成

を否別する等終始一貫其の

I

省推獎優良國

[製社會造製車轉自田安]

式蓋開動自ルーチスルーオ

朝郵三割引上

一二月の改訂期に

ムワイ

用期在这 每用使 58——58 57—47 B KX12 B

球用使 UY27A UX26B UX26B KX12B

動用施

ルモン號經受信機(ラジオ)千五百臺限り UY27A UX12A KX12B

法 五球式 《 一尺四寸 》 一尺 》 七寸五分节 四球式 》 一尺三寸 》 九寸 》 六寸五分

號高級體自轉車 逶迤箕……內地 二圖、海外 三圖、均一中受 一千臺限り

車用實級高

けば直ちに御使用になれます。

經換文字合符合機付、外錠付、鐵中屍及錠前付桐箱入

五圓 運 四十四 也

寸法 高步二尺五寸 間口一尺八寸 奥行一尺八寸

定價百二十圓…市價五十圓品 大特價 十

朝鮮類似宗教の將來性

朝鮮の

ある。三歌綜合の思想は、昔か歌綜合を以てその歌義となす監

特異性は、その多くが信仰道三

雲教の東本願寺歸屬

金

杯 **壹 健**象 正高界無

高端柱頭がます。 から申しましても普通家庭に極力お完全に防火の目的を達する事が出来ます又防盗の馬完全に防火の目的を達する事が出来ます又防盗の馬完全に防火の目的を達する事が出来ます又防盗の馬のと自負して居りますれば切にお備へ付けあられる。 薦めするものであります。

創業明治四十年 **資本金百貳拾萬圖** 商工省認定

に御返品下されば他品とお客車便にて出荷致します。

國際貿易株式會社

幸仕出来離く「此の 聖表 しますからが切前にお早

【有造費【切本社資博】 配に付金整以内に賦上ます 関に付金整以内に賦上ます。

日

八年の女子は仲が思い。 教語が隣 ひには
思穴をひつくりかへすやら 女のくせに」と五年の男子が言 合つてるたせいかもしれませんしなことまでするのです。

どういふものか、五年の男子と にお湯の取り合ひつこをしてしま

から、勝つた器が行くことにしよ

「買けた器が行くのは面白くない 「離か行くか、もやんけんできめ」

馬門が持てないのねと

「どうしたの。男のくせにそんな

「腕がいたいんだい。」

『あんないお思したから<br />
類が當つ

四人の首番の着は輪になってち

たんたわ。

『遊はい。 スケートでくちいたん

話 童

岩本正二 畵

を取りに行くことになりました。 はき終つて、さて、小四部にお聞 たし、机も整列させたし、膨下も

き、後からさつきの六年の子が追

配下の年分頃すでやつと来た

ひつきまし

つたとつくらい思いました。

郎は吉田若に代つてもらへばよか 左の手に、重い馬灣を下げて、三 長い部下を行き階段を上らなけれ 出来るだけ平家な顔をして、左の 少し無理でした。しかし、三郎は

手にさげて漸く小便器を出ました

ばならないのです。飲ひなれない

ですが、それをさげて歩くには、 り先にお書を置ふことは出来たの

右の手の痛い三郎には

一列の後にならいのでした。

(羅) (實)

Ŋ

ŋ

・彩色し度に住所に名、摩杖名と中畝とを書き込んで下さい)

クレヨンできれいに命つて下さい、よく出来たら本計學襲節『懸貧ぬり精係』に送

そんな風にして、六年の女子上

教室をされい に揺除し

**4と「下級生のくせに」と六年の 日、スケートで訪んで腕を少しく** その目は三郎は路音でした。昨

やんけんをしました。 連の悪い時 勝つてお湯を取りに行くことにな にはしかたがないもので、三部が りましたが、馬穴が大きいのです から、腕の痛い三郎は困つたなと

まじつて、六年の女子が小使さん 「僕が代つてあげるよ。サブちや 「馬穴の一杯や三杯子領だよ。」 吉田沿からさら言はれると、持 小腹部では、三年や四年の春に ともう周穴を左の手にさげて配 生走つてみたのです です。そして三郎の馬だにあいて 馬穴をさげたすく急に引起したの一るから重いのよ。私のはこんなに

だと思つてゐるのでせら。

ところが、先に行つた女の子が

に駆けお他さんの手腕ひするんだ

その女の子はいる無いる一人で持つて行きませらっ」

「可以相だから手腕つて上げるわ」

先に行きました。三郎はくやしく

その女はさら言つて、ずんし

てたまりませんでした。きつと

「あらさらっ」

お湯を貰つてのました ゐる左の手をかけると (十六) 野本年 | 東並節

でした。三部はつかく、と去年の ろと列をはづれた後に、すましこ 女子に近づくと、 でくれるのを原著に符つてゐるの んではいつたのです とんとつき當り、その子がよろよ 嗣をいからして

すから、その六年の子は、しぶし

一局の御英雄により試験制度が全価がつきかねてあたのであります、 的発射的に収売されるとになりまし、要するに昨年までは、質賞方面の したとは前に程ばしいとで私共は、みに重點を置かれ、頭のよい都と 用せられたかる形には十分の忠富 すた所見表をどの程度まで利

すしては、初野学校を必要する質 交問題に脚する仏共の希望と試し 扱はれたやうに思はれます。 少からざる苦労を含めて來た次第

受験児童の御家庭へ 虎

名の趣旨 古一川田から政治された

入型は、減も目的に迫すりましたの で開家庭では定めし熱烈な総職味 を関係されて届くことと信じます。

常中者と近しず一路吸正別域側側の要素と見能取扱 しても一人でも 気の中に終始するやう斯得いたし 従来地域でははりまでされてるま ひ上の注意に就て聊か申上げたい て居るのであります。私は元づ此

から及ばずながら謎部を以て適當 ます。本年は御承知の通り本府當 にお世語歌して居るつもりであり 方容く合格させて上げたい念顔 従来の試験法は元と国際政策の法 從來の試驗法

今回の改正案

**父兄讀本** 

様や机をふくために、小使家に 間を買ひに行くのですが、数部

「机を選ぶぐらあ事実を」と、三郎 な風に言はれると「大丈夫だよ、 君が心配してくれましたが、そん **製建でやるから』と仲良しの吉田** ぶちやんは何んでゐてい」んだよ

にしました。机を逃ぶときも「さ

つつき」と向ふでもやりかへす有 ちらからからかふと、「五年ご ときでした、何故かと言へば、 番組るのは「排除芸術

郎は、我慢をして気管をすること

むのでしたが、資けづぎらひの三

一後から来て、そんなことするのず ぞと言ふやうに、右のひちを戦り ずきんと蹴んで、 の子が手同つて来たら承知しない るいわ。胆管にならびなさいよう と身をならして三郎は、もしと

めなければなりませんでした。 手向へば買けるにぎまつてるす 「いち思!おぼえてゐらつしゃ

肥試験の成績によって大きの及語 G 頭 は俺の時間で極一然なすべき総復門と、所謂人學呼 初等

但校院終歩中の 仕上げとして

然る

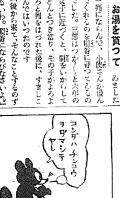
に全回の改正派 に就て、當局の

めて川村には明けられたは様であ一個子のものとが完全に一致する総 であります、従つて止むを得す受料目は従来の通り國語な前の二科 計るが断も即る相差な問題が多く

申するのと特任教師も受信兄而も に基き各校共申合せの範部内とは ので、我京城府内では常局の通牒 度科目に就き組書高い程度の軽備。目であり問題態度の標準は、日常 指導を必要とすることしなります

した人型試練が、今後期間な空間・で難指の食器の如きは、第二第三ド) として遺きを置くべき政権から出

**売売方が出合ひ、百けず劣らず**ーはわざと元派よく願いたのです





菜だから

一べんぐらる仲良くし

三郎は何も言へませんでした。女

かりしてあたけど、近番ら直ぐ等

女子が、やつばり自分達より のくせに』と軽蔑してゐた六年の

を、しみじみ感じないでは居られ なかつたのです 偉い上級生で あること

自分の数器の削まで来ると 『ありがたら、それから、さつ

た自分を恥しく思ひました。そし 次に 今まで題じたことのない説 関訴録方の問題 ●同 銀

ない線であります。然るに従来図。 このに鍵を均様に重視さわまの線 定し且つ振假名句の文字は密取にたい線であります。然るに従来図。 近のに鍵を均様に重視さわまの線 定し且つ振假名句の文字は密取に 「則は郡記試慮、口凱話間及母警院 | 國語過水中にある数料のみより選 | 従来の鉄路は大型に形で敗害され 題本、父高等売通学校長女子高等 女學校は小學校六学学の施行國語 は用されことになって限ります。 普通学校は普通学校六型年の現行 綴方 の交踵について は従来律々にし

解

て居るやうに駆けれます、即ち今

連្に倒貨がによりますれば、

合名がに依り迎接することになり 生活の質問に弱領なる奴材につき になってをります、銀記談話の供 **用所慰衷を有力に参慰せしるへと** 各方面に亘り記定し、配も極めて 年雲のな語に依る響通の學力にて ものを出されたことがあります、 て、子供の質生活にかけはなれた を標準とされて居るやりでありま り弱いと思ひます、此の點につい れど大量の方針が普通見流の實力 ては間に明ふされて居りませぬけ

В

「悠ばつてお湯を微山貫つたりす」右と左の手に馬穴を下げると、そ 分もその子と一緒に馬穴をさげま の子はそれこそ小派で歩き出しま れてるわら 振いてゐる三郎を尻目にして、 「一年中あんたの祖とは戦撃は した。あわて、自 中半ズボ 蘇格蘭のド

の傾スコットランドにすんでゐま、かり指ますがこれはスコット ドナルド打はとても間の多い荒野、ドナルド打は冬も夏も半ズボ う優してしまふのですが、その代 は船と自外でに出た太陽は午後三時になるとも。 ド指は彼のだ す、冬は遺かとても短くて朝十時「ドの子供の智能なのです。ドナ り夏は朝星く出た太陽が夜の十時。にゴルフを置つてしまひました

になってもまだ思ってゐるのです。ゴルフはこの國では になってゐるのです

そのわけはご存じでせらがスコッ 下は北の國であるからでず 流代 M W.



持時賦育九時間 超聚 转 47 步 4 步 王金

說問 答 いた。

六段 飯塚小山 即

『無論的からの置は筋であらう 生んだ此の戦は

天才の名に背かず鮮やかなもの死遅れの必死を掛けたのは流行



**吹物質の兩者を補給するアペチ** 

は榮養を充實して体力を増 而もアペチン錠の食慾と消化 します。

乳兒綠便、發育不良脚氣、貧血、榮養障碍常習便秘、便 通不 整消化不良、食慾 不振 三ヶ月分 1000錠(四圓五0) 重號(四級)100號(一國) 病後の榮養増進。 一月中分 五00 錠(三圓臺) 店商衛兵長田武器 元寶發 町修進區東市阪大 店商衛兵新西小器 店灣代東翻

〔症應適〕

数本 医 維 本 目 市 玄 卓 87--168(0)

補給 

强増を能機の腸胃

ピタミンBの

はよくなり、便通は整ひ、 ミンBは、胃液の分泌を増 アペチン錠の主要成分で を盛んにしますから、毎食 んでまあります。 さず 服用しますこ 食物の 特に胃腸病で消化の關係上、 食然も地では、

ナルド君

はやめるものです。 極めて効果的で、胃腸疾患 極めて効果的で、胃膓疾患のこの意味から、アペチン錠の 留意せねばなりません。 せますから、常にピタミ yBの缺乏を來し、疾病の 食事を断つてゐる場合には Bの補給に の治癒を潤ら を選ら 治療を 治療を

0

肺結核患者、 抗病力を强め、 慢性 病者に

肺結核、諸種の慢性病で熱のある そのため身体の細菌感染に對す のピタミンB・Dが失はれます。 、組織の再生力が減弱します。 これでこんな場合、ピタミンB る場合には多量になる。 とビタミンD基 、養を亢む 錠の應用はそ 抵抗力が減退

の治癒に好影響を齎します。 心の促進作用

鎭南丸が太鼓判

聖南浦】既報の通りは・Kの逆水改造、智慧の定規部令統备体就等に近畿して面護、胎質体験

探安聡の手許で研究中のところれ

西鮮の迷子郵便

指定したもの一なつて平原整度分業局に拠まつた一く差出人に責付の出来たものが三

差出人にも受付の出来ない迷子と一通、この中職々の方法で調査し前

【平職】受取人にも配産出来す交 | 一月中の郵便物は一千九百三十四

なんと一ト月に約二千通

水原劇場

も、五円の安勢も 日間を整へ、まを 日間を整へ、まを

世代経典語(でき) 中中 泰

(阪か止め、皮を

**頻聚麒
限についてはかねて道** 

大講歌』の市館野化方針に基く「優か建ち並び一大節観を隠する歌」ではこれが初めてよるる景麗都市」でこれが完成の軽は記事な大慶高」でかくる建築上の緋隈収締は鮮内

壁の引上げが空砲されてゐるは六萬七千圓であるが大聲十萬圓

を群ないとされ十一年度の附加税

十三年度の豫算に計上

測候所《國立化

[永同] 永同神化師的營奉官首で

近く工。着手

日午後一時から公門屋で役

置場超添員一間城署の留一

濟州島の漢拏山

能響するか、また総質局の方

| でいっぱい | であるから脚節 西瀬の音説が眠って映画祭の百通祭に伝説な | 小夢に、二、三日も参山にスト | であるから脚節 西瀬は り、この話からみると上川が | 川海国の網典工作として、水上観 「八郷としてあるが、しかし果 しかし節米の直通繁造で二川南国 の正版連番長によら正版重動時の | 市職の2として、水上観 「八郷として、水上観 「八郷として、水上観 「八郷として、水上観 「八郷として、水上観 「八郷として、水上観 「八郷とり」 | 「からりは過年後に上記して、水上観 「八郷とり」 | 「からりは過年後に上記して、水上観 「八郷とり」 | 「からりは過年後に上記して、水上観 「八郷とり」 | 「からから脚節 西瀬の音説が眠 つ時間 | 「のまりには記述して、水上観 「八郷とり」 | 「からから脚節 西瀬の音説が眠 つ時間 | 「のまりには記述して、水上観 「一番とり」 | 「からから脚節 西瀬の音説が眠 つ時間 | 「のまりには記述して、水上観 「一番とり」 | 「からから脚節 西瀬の音説が眠 つ時間 | 「のまりには記述していまります。」

仁川は寧ろ江原道方面に

新生面開拓の好機

一つ時機を捕へたものといひ得るで

協能したところ没年を肌に彩どつ

問師人男か飛び込み、急停車をし

が及ばず無惨な難死をとげた、

た くらせ、そして心液に……」と説 くらせ、そして心液に……」と説

つた、崔上は昨年の夏延邦島で知

かなの身受け金三百國の工面に期 リ合ひ能生がで一週回同感した

質の中軸をなずだけにこの動回は

目作農資金を初め

極めて注目され、これに對し銀行 を投げつけた、卸路組合は謎の紙

闘は沈默を躓けてゐるが、銀行の

死を求めたものである

水同神社造營

でこのまる放置することもなから

**簡保積立金西鮮への運用額** 

前年より卅六萬圓增

にあて一部れられない発玉よ、兄 一七四敗兵馬と運輸の雇兵権「五」くも城市のそこにあり府内領空町

▲質力に相高する貧田をなせ▲ た、常時の解送凱號マン子長人、金利を京城なみにするためー、 表示トリテ夫人その即館近別。マンチ長人、金利の京城なみにするためー、 表示トリテ夫人その即館近門十名

予念を表現である。 の表前最初の表前最初の表前最初を表現である。

横にふりあて られたも かられたも から は 一郎は八百トンの収容 の 一幅で大邱――杭川合一幅二月十日までは三

るもので野地の建築提送では珍庇野頂海拔二千敷百米の高山に建て 即も山頂臓神所は神州島近季山の

**光級産業的低は、されてあたが、由着銅温業能膨脹、たため、再度電器の大水産物が説。阪対性部が持てよりで質式性膨起、範囲に動用されてある。存足を貫収を一種両足しこれが買地を大いに期待「発明(三井)の主張に顕線を生じ、しかしながら申答銅温素が現行の、自作場所度改金を乗取1条の産業化の、繊非温素組合長が変遷後を務め東「所有素師の不統師と、業者異出政」立ち後に原産の己むなきに至った。かこれ等の作併金ほ舎に柔の産業化の、繊非温素組合長が変遷後を務め東「所有素師の不統師と、業者異出政」立ち後に原産の己むなきに至った。かこれ等の作併金ほ舎** 

自作提出定資金を無頭に極めて置

ある関係上試験基本来の機能を元

シネマと演劇

がこれ等の貸付金は各道に亘つて

事業が持つ使能が如何に活躍に 動きかけてるるかと再ば織される 権の公正を置ぐ公益事業の企設

六百五十四,黄海九十七萬四

【韓山】政権皇宗の貸給し作者。南着の安部派り米面側もこれを納して、劉末一、以三銭で取扱さことに

釜山に負けるな

平南工業試驗場の國庫移管

ちかく本府へ要望

圓満に解決

魔者の間ではこれをもつて計機を

かは業者も透知してをり、

移倉し賃金

作業會社ど 業者の喧嘩

るから今後の成行きは注目される

【辞山】今回の政府買上米の介格

たらしめるために國軍秘管方を近

の機能を経弾し牛曽工業界の提試地から中央試験相支所として充分

金周囲に増を軽し勢力供料質

護婦人會

記念の集ひ

問題は作業語典では貧弱し飲を翌 書の間に問題を凝乱し労働問題化

国支所影響の猛運動を行つてゐる。

なほこの問題では釜山でも敷地無 く本所に緊張することになった、

(2) 「別」分五四、配送五分三四の増加 (2) 「十五箇で削平同期に比べ引受一 (2) 「十七百五十一、配達九千百 (2) 「中七百五十一、配達九千百

月中の小包 [军選]

されると平域西議では歌起となっ のでこの分で行くと毎山に先を

の廿になるが京城の百分の十三、

「平郷」 府の戸別数別加税は百分

平壌の擔稅力

**1川篤志看** 

雄基市民がつかり

島の高泉級的戦を置める消滅は十一級。河町と山頂殿河所を設置、半 無難の製備をこらすことになった 夫と高山製泉観測所の建物に相思 が財政の都合上一年延用され、か しくの風のとの寒さのに耐へらる つ山頂観測所の設計にも到行の下 **土上1・1、50万・**然のて十一時から祝行前を開いた。その内大手側は部内範山業者から 年配承歌観測師に配も大きな観ぎ。を観行、各家公教は、小虎杖、曹、四郎玩計館の下に協議の結果新堂 年配承歌観測師に配も大きな観ぎ。を観行、各家公教は、小虎杖、曹、四郎玩計館の下に協議の結果新堂 年記本歌観測師に配も大きな観ぎ。を観行、各家公教は、小虎杖、曹、四郎玩計館の下に協議の結果新堂 陰城 十一日年間九時半から、管民を電戦百名参列のもとに神社、内存志の総志が附を仰くこととし、も電池県は超い時である

佳日を壽ぐ

丹陽 午則十一時處都守以下

産會社遂に流産

巾着網漁業者と出資者の主張に懸隔

哀れ 若者春

登時四一五列時が、仁川に向けて【七川】十二十年後三時阿十八八

鮮米直通輸送の

英雄で面主催の管民へ間の登記式を取得で面主催の管民へ間の登記式

**監督で画主脳の管理企画の牽視式 | せしめることになつた | 水八ヶ月間に及ぶも実だ保留のま | して川島氏の留世希望に発足し数 | 徳中氏等は地方民を代表し近は中年次月、解表を提出して以 | るが遺跡亜酸部等も去る六日館舎 | 學校組は管理書、有声験意識・金|** 

**報頭として頭緊勢大の川脳由三郎。我は銀頭なしで撃行したほどであ。同氏の留俄を希認してゐる** 第で開いた有志會で決定した **3年代力・物は一年清州海豚** くこれが未解決のため本年の出初。ることになつた模様で市民一般も「念ことに十二』好後五時から公孫 留住力物は、年清州市断くこれが本解決のため本年の出初しることになった段階で重成し版もしることで十二十二ととましている。明島和東に「清増」が「を飲造したが同民の都然に属る際、同路長も川島氏に優感力を納むず「全球を遺跡しそれん」(促進保護・川島和東)に し、この冒宇田署長に偲へたので

に忠北近壁及び京城敦世軍関野司

無動節局から伊太利の風波者より ッリーニ首相にあて手肌を発出し 大川 」上る一月廿日昭和職部同

府部町九六線洙英(『J)と判明、韓

を明んで組合晩行に原理的準備と「登出す苦時の歴じ出にふけり、団」の組織域について鉄重長、宇華宮」に手載で延帳を低額したものの三項目をかくげ銀行業務の歌語。が樂すり:十三年前の二月十三日。【永同】教世園園院診算、その他「緻なところからムッソリーニ 組合銀行に ので、耐立記念日の十三日子 安一 関番紙に花 か吹いた ので、耐立記念日の十三日子 安一 関番紙に花 か吹いた 【張同】敦世軍病院記算、その他 | 国なところからムッソリーニ首相 **紡金南川温などで働いてるたが** 年十月印料神異様を来しその上質

電注電子できば か動に感じない都では断目であるの歌声に迷せる 小蛇を挽つて見て、角間県の歌が

永同の懸案

心臓の强い男

内務大臣・

日朝鮮神能能可能

で取調べたところ、この男は光州署

社の庁業的率に高値影情がある 來解決が遂げられた、要するに ろから米穀商が自分達の作業

就織を頼む ことに起因するものである

突如仁川の卸商組合から

組銀に爆弾陳情書

簡易農民讀本

年酸で實施中の文員で經濟對意の 並大手七百七十九冊を前布した
数科器たらしなべく、この儘、→ 農家男生運動促進資料として 」直では既村文園の酸及び 忠北で發行

エー、朝鮮が理場に

生放清 「清州」市内のカラ ( ) 一年 係名別が特別語の語一緒 雑俗館 頭に次がカフェー語州門館の三十 題く勿れ資係名に述 て登録けされた報が で昨年中、お妾とし 班を置く女績、妓生 ではりはいなしても、コップで を選するのである。然人で散詞を知るに 故に小便をヨップに深つて見ると を開せればならぬ かんだり世野をしても、ものをもっプに深つて見ると を展開せればならぬ かんだり世野をしても、コップで を選するのである。

等が数名づくである、しかし今

雄々しく生れ出た寓話看歌婦人語「るに安し米等文庫では一鬟で取扱」(仁川)日露顧僧の顧短のなかに「米一気につき二銭六厘を取つてあ

王要街の建築物は

局さ七米以上

第一 (14川) 十二日より便の百分の二十二、大郎の百分 調 二 (14川) 十二日より便の三十九に比べると登山、大郎よ 日表夜三四 (4年) 大郎は 東北 (14世) 大田 (14世) 大郎は (14世)

維津の建築物制限案成り

道から本所へ上申

台

木

ルモン配

合· 優秀

な若返り榮養ク

IJ

綜合ホルモン配合で評判のクラブ 美身クリームは優秀なクリームで 木ルモンが皮膚から吸收して榮養

となり肌が若返りアレを防ぎます

三〇セン・四〇セン 人〇セン

力の強い最良の荣養クリームであります。若さも美しさもホルモンの作用によるものクラブ美勢クリームは事質特許認合ホルモ のでクラブ美身クリームは若返り効きモンの配合で地肌から若返らせます

優秀なク

IJ

# に将 はするク IJ

保護し、ます~~美しい健康な肌にします。から肌のアレや日ヤケを防ぎ、叉皮膚の殺菌、清淨、美白作用をなし、肌をから肌のアレや日ヤケを防ぎ、叉皮膚の殺菌、清淨、美白作用をなし、肌をクラブ美身クリームは綜合ホルモンの他に更に皮膚美養料を配合してゐますクラブ美身クリームは綜合ホルモンの他に更に皮膚美養料を配合してゐます

## 等正良實 の原料に よるク IJ

皮膚への刺戟が絶對になく、又完全乳化して浸透力強く、質は雪の如く純白の香での見ばが発生になるとなる技術と最良の純正原料とで出來てゐますからクラブ美身クリームは優秀なる技術と最近の純正原料とで出來てゐますから でサラ~~して決してベトつきません。

# る脱に若返らせますのこれは を防ぎ、血色のよい弾力のあ

されたことや美養分が皮膚か をよく防ぎます。それは続 クラブ美身クリー けの手當では充分と云へませ する多の寒冷は肌を乾燥させ 祭養を補給するからでありま ら吸收されて肌内部に豊富な 祭養不足にしますから表面だ えな既のア

胞組織に活力を與へ、小ジワ

モンが皮膚から吸收されて細 になると効力の強い綜合キル クラブ美身クリームをお使ひ



しくなります。

### 歌が普通のクリームと異ひまによつて能く出來る事でこの 綜合ホルモン配合のクリー ブ美身クリームでマッサー する倫人路後や就装前にクラ

肌の穀歯膏淨も乗てします。 これの穀歯膏淨も乗てします。 こればざんな寒さにも 脱アレを防ぎ かんな寒さにも いったり きょう かんしょう いったい はざんな寒さにも いったい はざんな寒さにも いったい はざんな寒さにも

クラブ美身クリームは白粉下

少年團のお父さん

本め同江伝説り監し代覧のより、 「はいっしままれたとに任って、諸工」造するとに決定、将来水力能能の ため同江伝説の他の整治を始辿させる | 寛垠と共に同様は形化して振権総

道としこの機能を認確させる一面

れるとになった、目下軽硬度

計機の具盤化などに伴つて、 貼の途を誤じてゐるが、水力起電 用の途を誤じてゐるが、水力起電

容解水畑をまつて賃地湖岸城を武

魔脳道として飛椒割するため、

を応答って結ぶの際征跡道々を掃「建度を以て指来されるものと見ら」 一般に接つて結ぶの際征跡道々を掃「建度を以て指来されるものと見ら」 一般から福浦戦――中征畝の間を江」るから、明朗國境の出現は相當高

地度を以て指来されるものと見られてある。

解水を待つ

砂膜を約四十センチの高さに最

# 觀衆雪崩を打つて逃げ惑ひ

代表オセトカール氏は一部を顧用、雰囲露長ノールウエー らホテルローヤルにおいて砂川語 「シャモニ十二十同一 日間スキ

日本はまり、ピック大賣が、完 った、一部にはド、一、『大賣」 った、一部にはド、一、『大賣」 の一九四〇年に日本明報を導へ の意見もあるやうであるが日本 はド、一、8 大聖末してのるの

南アタッシェの入場を許され、津 となし、ついで日本の高鷺、津田

事業を求む

百 湯 社の好職業あり

告に扱り特に登囲にて掲載すり時に登団にて掲載するは一回毎に五十四五十段匿名は一回毎に五十四年に五十

※ 正口無文

大 中 総科の通い工人水流 本項17日

本町ホテ

ユメカ オクチガ ウゴク

本問題は既に先年のガルミフシース 高に希望が提出されてゐるが、 本問題報園に招致したいとの提議 関語報目に招致したいとの提議

阿鼻叫喚の巷と化す

金を燃えらかる一方で午後九時世五分になるも誠心せず吐んに燃えつくある、原因は未だ不明であるが、死傷者百 を呈し阿鼻叫喚の修羅場と化した、突頭筋線では急難に避するや時を終さず出眺、終始の消水に朔のてあるが水はためき我先にと逃げ出したが同劇場には非常口がなく唯一の出口で先を爭ふ群集で大混亂も與う點に緩慢に包まれた、折から舊正月で超満員、約十五百名の観覽者は時ならぬ猛炎に慌てふ 餘名を越えるものと見られてゐる

幸ひ死傷者はなかつたが

た既何者が思説したかレールの上 事故原因となった砂礫は子供が悪」させることになった 事故原因となった砂礫は子供が悪」させることになった |校||一時間半を要し同五時四十五分||遊餐影部では回覧列曲の事故にけ||客に興敗はにかつた。復称作業に|| 戯に積み直わたものらしいが息歌 釜山に二時間延着

社大黨頗る不滿

文化勳章の圖案は

幸い削削が脱減

的七百米を突つ走つてやら

畏し、陛下の思召

關係者いたく感激

であるが、その動作の開案 配した七四盟の美麗なもの

給かことは誠に畏き極みでに對し深く大師心を正がせ 著を始め開掘者はいた

によるもので 降下が藝術

の他業務上過失数死罪の適用記

が重ねてあるのに割づかで高進し

間などに疑問の疑念くこれら諸監 | 郡五山面の飛行場を続つて私利を

敗因及ひその感恩に脚し翻訳され **光部院に詳細質問題が好を提出し** 条だ政府より公式回答に接せざいて政府の所見を質したるに対 「尾去四路山ダム樹帯に開し )般因能に詳細なる對策

出、常局では必死となつて之かが、これ難敗継に列馬事故の防止と經鑑道局線は炭をの血器を指導が設一十日から三十日にかけて水も洩り

飲酒し前木町二五一ノ四七石星松

名名

本於 北柳病 専門 1888

性上に横正しては土

機関軍の火災災は勝直路切に於る

行ふことに決定、表心三月十日か る全線を一貫した事故好正週間を 一般し、日本では初めての気みであ

外月廿日から全線

食堂で吠える

ひ

、離着陸を妨

の不可解な態度に関して趣信當 部地主が無智な小作人を利用し

トをわらふサイコロや丸一の財像 順限版がのきばるので府内各署で

深酒の癖ある

地拂下げを策した地元民の腹縁せ

**遞信局の勘忍袋逐に爆發** 

主はこれが機下げを受けるため「行くとて現金」百囲ばかりを帰つ一あつて同地に居住する数名の地「鉱山・密質の話で 発磨町 高橋方に

の使用してみる土地は飼育地で

城初晋町 | 二五梯田弾之さん(7

月午後一時ごろ

では、衛星地方民の総党に無くて総資局。日して定期に供行してゐる航空裡、総統セおばなられといよ質に反映でなく、今年初頭から選「回行」るが、無利解を限立に対して、公人資派行士を指数して協議中では、全場からの法律の際に急速の選 統論を申込み取締を厳重にしてゐ、べく資派行士を指数して協議中での「全年の費、全時で、全年の別議に、会に立り、山田総、すたも厳重に通道するとともに今にか、生婚唯一のローカルティンとして、信局長からその記度金兆別事項に、後の劉策に続して強砲主談に出るいる。全様と、第一部地方民の総党に共行する。

が、弾里の脊燥地である全化金堤 機の新規購入や航気路の延長など

飛提ならず疑惑されて風雨をさへっ

提供不時着場として現在定期が



**拓殖の先陣として復活** 

置つて見たが、どうやら本物、

けふの天気

ファーバー世界一脚骸一行十三名 Aで少量後市内を見物、流石卵の半島の巻を封切る外人観光観サー 借切つて賑やかに入城、朝鮮ホテ

今春觀光團のト

のため設定より一時間一行十三名

行氏(産)の死間

山口縣須佐沖で漁船が發見 照會に接し家人急行

1)

お鎖を、しかも大 ☆……天下通用の つた人の遊機記 一明邱建行班

事の指摘さんは十

よりは大いに勉學活躍に備えれば 備、之二件。許建築生品人建 の手を待たればならの事は當然で

微智で、立派に建築全般の外 識えるれば仕事の餘 暇僅か一時間 智 理築講義録は小學校卒業の即 用き主に直ちに役立つもの

智新のんさ工大や者係開築 すでれこは 書習 自―― 庫實

債探立私 查 類 班 結 ★ 年周五十週

ツツキ商會本店

野或命以

Y

昭和生命京城支部

目下新春 學 費 割 引 の 特 典 中 ▲一ケ月八十錢==+十四ケ月修了 ▲

の講義鉄であります。講義鉄教館の先 と大活躍が出來る最も必要な、 詩質、監督)となる實力が得られ建 學はれて早く一人前の建築家(設計、

各部門の専門大家です

+

中村 在 鞭 爺 會 原本五二〇三番

人

〈森瓜北千泉町・電話荘脈 並六四六・四三四四〕。宋乞 夏甄券)

高等工科學校

看

受売料金割の第子人

ヨット鉛筆株式會社

恩

京城が南大門通り 京城が南大門通り かり 入用不入来級のこと

X

停會明け議會で再質問

強度の魔動を与けたとけで寒「磯孝人耶啦に觸し十二日節でが雌、腹欺の塚建及び三変に對する滅世だけで揶瞞神には故障なく登」【異次電道】老母行の大阪平尼寺| 紫郷山殿背間から翻教された梁紫

**愼飛行士の憤慨談** 

禁界空前の活化を見んとされて 年が此講義録 國博 鷺 會をオリンピックの

廷の

所必事偵探林小 省四大三五本項制即城市

東北奥楽珠式倉庫部本・日舎東北奥楽珠式倉庫を長、陸山東でのか(辛)講師 航空 一般の静遠と関兵の登録 と関兵の登録 といっている。 新門に於ける初音の観々相を置い。第二景 要けか益兄市場 第二景 要けか益兄市場 板すごく人の胸を打つのである。一つ町の自光のない部落の正月風景がない 一、 法要 日連率人訓練賞法會 海師 日連率人訓練賞法會 百 大何正 第十 日頃 配 大田 第十 八の朝理想に で 第十 日頃型人の朝理想に 第十 日頃型人の朝理想に 第十 日頃 第十 日頃 第一 日春田〇夕 (単、勝) 北峰 とになる、勿論崇敬の演奏や高 新京より全國中繼 2…二年 川崎 晶子 同四時 ニュース (氣象通報・後) 初春滿洲風景 出、時は褒多、二人は若い、あゝ 筝の野山へ出かけるが、珍失蝦( を享業したいといろいろ苦心の末 世 2) - 野城 - 大連 ( の) ・ 野城 - 大連 ( の) 東にもまれてえとふうわう(人と 関にもまれてえとふうわう(人と 神 行 に日を送る とい (日を送る) とい (日を送る) とい (日を送る) (日 一月 在港 十三百 時により、一般により 大阪商船株式會社 殺然として斯界をリードする アジンは五十 京城文店 以前 ハ六年 酒面會 東京行 代理店 北鮮商船組 開拓者なり たこれを 総て優秀 船株式會社 記点を元に置き 周语 1 C | 播 (着深·嵩血) 朝鮮海洋社 方法院全川出張所有解释者就需要月輪五日子記 在世保、横須賀、鄭鶴 東京、福崎、名古屋、吳、 田 張 所 出 張 所 法人登記公告 一 明和指派华意月六日死亡》 重要素局(2)三〇三七番 京城 出張所 解武 赤尾保商店 財式 赤尾保商店 ·連大·城京·北台 店商生柳·店賣販手



店 商 屋 見 丸 ② 図南・京東 舗本

りません





[一〇時 館頭交換収送(簡節よれ・電具の番組 ス・電具の番組 ス・電りの番組

八日 關 東 丸

日五十六百三月川三

此石をありなる。